

令和元年度 事業報告

社会福祉法人 竹原市社会福祉協議会

本会は、「福祉のまちづくり」を進めるため、「もっとあったか福祉 e-まちプラン(竹原市社会福祉協議会地域福祉活動計画 2018)」(以下、e-まちプラン)の4つの基本目標達成に向け、各種事業を展開した。

ふれあいサロン活動の推進については、新規の立ち上げが4ヶ所あり、ふれあいサロンの総数は65ヶ所となった。特に、毎週型のふれあいサロン(常設型サロン)は28ヶ所となり、地域におけるふれあい活動の拠点として定着してきた。

地区社会福祉協議会(以下、地区社協)活動事業の推進については、ブロック会議を開催し、地域支え合い体制づくりのための新規指定への取り組みを行うとともに、生活支援体制整備の推進に係る説明等を行い、2ヶ所の地区社協において、生活支援体制整備に係る住民対象の研修会を実施することができた。

地域包括支援センターでは、認知症サポーター養成講座を地区民生委員・児童委員協議会や小中学校等で開催するとともに、医療分野と協働し「認知症見守り訓練」を実施するなど、「e-まちプラン」に掲げる「地域包括ケアシステムの深化・推進」に向けて、多職種連携に取り組んだ。

権利擁護の推進においては、生活困窮者自立支援事業、福祉サービス利用援助事業、障害者虐待防止センター事業を一体的に運営し、地域包括支援センター権利擁護事業と密接な連携を図ることで、高齢・障害・生活困窮といった分野を権利擁護の視点で横断的に対応するワンストップ型の事業運営に努めた。併せて市民への啓発活動として、福祉だよりへの成年後見制度等の関連記事の掲載や地域に出向いての講演会・相談会を開催した。

介護保険・障害者総合支援法の関係では、サービスの質の向上を図りつつ、利用者に対して適切な情報提供と説明同意を得ながら、法令遵守のもとで利用者主体のサービス提供に努めた。

ファミリー・サポート・センター事業では、協力会員と利用会員の相互援助活動により、仕事と育児を両立し、安心して働くことができる子育て支援事業を目指し、会員の拡大に向け事業の広報や啓発に積極的に取り組んだ。

各事業執行にあたっては、役職員一同が低コスト意識を共有し、効率的な運営をすすめた。

令和元年12月に発生した新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナ)は、令和2年に入ると瞬く間に世界中に広がり、コロナショックと呼ばれるほど社会全体に大きな衝撃を与え続けている。

日本国内においては、令和2年1月16日に国内初の感染者が確認された。また、広島県においては令和2年3月6日に県内初の感染者が確認され、福祉や介護関係施設等での集団感染の発生など予断を許さない状況になっている。

本会においても、3月に予定していた認知症講演会や各種会議等を中止するとともに、ふれあいサロン活動団体へ活動自粛要請を行い感染予防の徹底に努めた。

新型コロナによる活動自粛要請中もふれあいサロン参加者からは、活動再開を望む声が多く聞かれ、ふれあいサロン活動が地域において日常的なふれあいの場として深く浸透していることを実感した。

事業実績

1. 社協基盤・組織体制の強化

本会発行の広報紙や各種事業を通して、市民への広報活動を積極的に行ない、自主財源（寄附金・会費・共同募金）充実への理解とその収入の安定確保に努めるとともに、役職員が一体となった社協活動の推進となるよう、以下の取り組みを行った。

(1) 理事会・評議員会等の開催

・理事会

開催期日	出席者数	監事出席有無	決議事項及び報告事項
6月6日	10/10	有	平成30年度事業報告、平成30年度決算認定、本会定款の一部変更、任期満了に伴う役員候補者の承認、令和元年度第1回定時評議員会の招集
6月21日	7/10	有	正副会長の互選、本会評議員の互選
12月13日	8/10	有	令和元年度第1次補正予算、令和元年度第2回評議員会の招集、職務執行状況の報告
3月17日	8/10	有	令和2年度事業計画、令和2年度当初予算 令和2年度本会基金及び積立金の取り崩し、令和元年第3回評議員会の招集

・評議員会

開催期日	出席者数	監事出席有無	決議事項
6月21日	20/23	有	平成30年度事業報告、平成30年度決算報告及び社会福祉充実残高の算定、本会定款の一部変更、任期満了に伴う役員候補者の承認
12月20日	20/23	無	令和元年度第1次補正予算、職務執行状況の報告
3月26日	18/23	無	令和2年度事業計画、令和2年度当初予算 令和2年度本会基金及び積立金の取り崩し

・監事監査

開催期日	監査内容
5月29日	平成30年度事業及び決算認定に係る会計監査

・評議員選任・解任委員会

開催期日	決議事項
7月19日	評議員の選任
3月23日	評議員の選任

(2) 特別・賛助会員及び寄附金への取り組み

従来会員の掘り起こしと新規開拓を継続して行った。

福祉だより(市内全世帯配布)を活用し、寄附金の周知と啓発を行った。

(3) 低コストへの取り組み

会計では、事業担当者制により、経理担当者と連携し、経費節減に努めた。

備品購入やリース物件等の契約は、複数業者による見積り合わせを前提に取り組んだ。

(4) 役職員研修の取り組み

・役職員研修会の開催

e-まち講演会に位置付け実施した。

2. 「もっとあったか福祉 e-まちプラン(竹原市社会福祉協議会地域福祉活動計画 2018)」の推進

4つの基本目標達成に向け各種事業の中で取り組んだ。(各事業に基本目標の番号を表示)

(1) 基本目標1：支え合う体制づくりの推進

- ① 支え合えるサロン活動の推進 ② 地域で支え合う仕組みづくりの推進

(2) 基本目標2：ふれあう人づくりの推進

- ① ボランティアの養成・確保 ② ボランティア活動の活性化
③ ボランティアグループ連絡協議会との連携・支援
④ 災害時のボランティア活動の取り組み ⑤ 福祉教育活動の推進

(3) 基本目標3：誰もが安心して暮らせる仕組みづくりの推進

- ① 相談事業の充実 ② 権利擁護事業の推進 ③ 障害者支援の充実
④ 生活支援活動の充実 ⑤ 広報活動の充実

(4) 基本目標4：つながる関係づくりの推進

- ① 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けての取り組み
② 関係機関とのつながり強化

3. 地域福祉推進事業

(1) ふれあいサロン事業(基本目標1①)

① ふれあいサロン活動新規立ち上げ及び常設化支援、運営費助成

- ・新規サロン4ヶ所立ち上げ
- ・運営に関する相談・協議・支援(随時)
- ・市内サロン実施数 65ヶ所

小地域サロン(主に自治会範囲): 48ヶ所、広域サロン(主に地区社協範囲): 17ヶ所
毎週型: 28ヶ所 月1~2回: 25ヶ所 その他12ヶ所

・地域福祉活動拠点整備

週1回以上活動しているふれあいサロンを、地域の福祉活動の拠点として機能させるため、拠点整備費用の一部を助成した。

実施サロン: 1か所(平成26年度~令和元年度 計17ヶ所実施)

② サロン世話人交流会、研修会の開催

- ・e-まち講演会の開催(年1回)

日時: 令和2年2月22日(土) 13:30~15:00

会場: 竹原市文化創造ホール

内容: 講演「誰もが支え支えられる地域づくり」

~平成30年7月豪雨災害を踏まえた、普段からの地域づくり~

講師: 日野ボランティア・ネットワーク 山下 弘彦氏

参加者: 173名

「誰もが支え支えられる地域づくり」をテーマに地区社協関係者・ボランティア連絡協議会関係者・ふれあいサロン関係者・地域住民等を対象に講演会を開催。普段から地域で防災や福祉に関する話し合いや支え合いマップ作りを行っていくことの大切さや、地域の実情に合わせて地域住民の一人ひとりが出来る事を自分たちで決め、地域住民が担い手・主体となるよう、支え支えられる地域づくりを進めて行くことが重要になる事等を学んだ。またお互いさま活動の普及啓発と関係機関とのつながりづくりの取り組みを兼ね、地区社協全体研修会、サロン世話人交流会、サロン活動リーダー養成、竹原市被災者生活サポートボラネット推進会議として実施した。

③地域のなじみの場の実態把握

- ・ふれあいサロン活動・行事等に参加し、事例を収集（随時）

④ふれあいサロン活動の普及啓発

- ・e-まち講演会（再掲） ・出前講座の実施及び運営に関する相談（年106回）
- ・ふれあいサロン・お互いさま活動、介護予防地域実践事業等の説明及び話題提供
- ・福祉だより、ホームページの活用、サロンマップの作成

(2)地区社協活動事業（基本目標1②）

住民同士の交流やボランティア・地域内の福祉施設・学校との連携、地区社協だよりの発行など多くのふれあい交流活動等が実施された。本会は、随時、その活動支援・協働活動・情報提供・活動費の助成等を行った。

地区社協名	主な活動
竹原町第1地区社協	高齢者への配食サービス及び世代をこえたふれあい交流(3自治会連携)
竹原町第2地区社協	1人暮らし配食活動・ウォーキング大会
竹原町第3地区社協	一人暮らし高齢者配食等
竹原町第4地区社協	高齢者への配食サービス
竹原町第5地区社協	昼食を囲むふれあいの集い・盆踊大会
忠海町第1地区社協	町内一斉清掃・墓地一斉清掃
忠海町第2地区社協	夏秋の健康相談・栄養教室、一人暮らし高齢者への配食サービス
忠海町第3地区社協	高齢者いこいのつどい（第一回、第二回）
福田地区社協	一人暮らし老人配食サービス・ふれあいサロン
高崎地区社協	一人暮らし配食サービス・夕涼み会
大乘地区社協	夏まつり等
吉名町社協	高齢者への配食（真心弁当）
大井地区社協	高齢者野外活動・高齢者への配食サービス
下野町東社協	見守りネットワークの推進事業、児童おもしろチャレラン大会
東野町社協	夏期・歳末町内訪問
荘野地区社協	明るい地域づくり事業
田万里町社協	ご長寿祝賀事業
仁賀地区社協	町内一斉清掃・高齢者への花の苗配付・地域行事への助成
小梨町社協	町内の環境美化事業

①全体研修会及びブロック別会議の開催

- ・地区社協交流研修会(ブロック別会議)の開催(年1回5ヶ所で開催)
(竹原近隣ブロック 7/4・北部ブロック 7/8・忠海ブロック 7/10・竹原ブロック 7/11
・大乘ブロック 7/12) 参加人数 70名
- ・e-まち講演会（再掲）を全体研修会として位置付け実施した。

②地域支え合い体制づくりのための指定事業の実施

○小地域支え合い体制づくり推進事業

地区社協と連携し、地区社協等が行うふれあいサロン活動やふれあい交流活動等で把握した、地域のちょっとした困りごとをそのままにしない・ほっとけない・ほっとかないといった気持ちで、お互いに支え合える地域を目指し、地域住民がちょっとした応援で安心して生活できるお互いさま活動づくりを推進した。

- ・実施地区社協：1地区（新規：高崎地区社協）

役員会・研修会・マップづくり等を開催、お互いさま活動のイメージ図を作成

主な活動内容について、次表のとおり

実施地区社協	委員会 (協議)	事業内容	事業の効果	今後の取り組み
高崎地区	役員会・訪問協議等 (随時)	・研修会勉強会の開催 ・他地区取組み状況把握 ・支えあいマップ作り	・支えあいマップを作成することにより地域の状況が把握できた。	・支えあい活動の推進 ・支えあいマップの更新 ・見守り声かけ運動

○地域支えあい活動推進事業の実施

「小地域支えあい体制づくり推進事業」の指定を終了した地区社協が、取り組んできた活動を継続し、お互いに支え合える地域を目指し、地域住民が、ちょっとした応援で安心して生活できるお互いさま活動づくりを推進した。

- ・指定地区社協：5地区

(最終年度：竹原町第4地区社協、下野町東社協、荘野地区社協、仁賀地区社協)

(1年目：小梨町社協)

研修会・マップづくり等を各会場で実施 体制づくり委員会の立ち上げ及び協議、お互いさま活動のイメージ図を作成

主な活動内容について、次表のとおり

実施地区社協	委員会 (協議)	事業内容	事業の効果	今後の取り組み
竹原町第4地区	役員会・訪問協議等 (随時)	・見守りネットワーク活動 ・高齢者への弁当宅配、声かけ運動の推進	・見守りネットワーク活動や、関係機関・団体との連携強化につながった。	・支えあい活動の推進 ・生活支援体制整備事業への取り組み
下野町東	役員会・訪問協議等 (随時)	・支えあい活動の実施 ・見守りネットワーク活動	・支えあい活動の実施や、関係機関・団体との連携強化につながった。	・支えあい活動の継続 ・支えあいマップの更新 ・生活支援体制整備事業への取り組み
荘野地区	役員会・訪問協議等 (随時)	・小地域サロンの育成と助成 ・小地域サロン代表者会議の開催	・小地域サロンの立ち上げ関係機関・団体との連携強化につながった。	・支えあい活動の推進 ・生活支援体制整備事業への取り組み
仁賀地区	役員会・訪問協議等 (随時)	・事業推進会議の開催 ・ふれあい交流会 ・サロンの開催	・高齢者の健康状態等の確認が出来た。支えあい事業の必要性の再確認が出来た。	・支えあい活動の推進 ・生活支援体制整備事業への取り組み
小梨町	役員会・訪問協議等 (随時)	・健康講座、体操の開催 ・サロンの開催	・ふれあいサロン活動の他、健康体操や介護予防の定着化が進みつつある。	・支えあい活動の推進 ・支えあいマップの作成 ・高齢者の孤立予防

③地区社会福祉協議会活動推進のための支援

- ・総会や役員会等に参加し、個別訪問協議を実施した。(随時)
- ・会費・寄付金・共同募金等の財源を活用し活動費助成を行った。

(3) ボランティアセンター事業

① ボランティア相談窓口の運営及びボランティア活動の支援（基本目標 2②）

- ・ ボランティア活動相談・依頼受付件数 290件（内訳）

情報提供	185
ボランティアを求める	23
ボランティアをしたい	13
ボランティア活動中の相談	24
その他 意見・要望等	45

- ・ ボランティア登録制の整備と周知等

ボランティア情報提供希望登録者 62名（学生を含む）へ随時情報提供

市内高等学校並びに登録者への活動案内調整 17件

登録ボランティア数 959名

ボランティア保険取扱人数 773名

本会登録ボランティアに対するボランティア保険料助成

ボランティアグループ（VG 連加盟 14 グループ）への活動費助成

災害ボランティア登録 73名

- ・ ボランティア情報の広報

福祉だより、ホームページ、ブログへの情報掲載

講座案内のポスター掲示

個人登録ボランティアに情報提供

② ボランティア養成講座の開催

- ・ ボランティアのきっかけ講座及びフォローアップ講座の開催（9講座）

講座名	内容	実施回数等
地域デビューのきっかけづくり コーヒーでボランティア講座	コーヒーボランティア活動者の養成	実施回数：第1回、第2回各4日コース 参加者数：延49名 登録者：11名
アロマハンドマッサージボランティア養成講座 フォローアップ講座	社会福祉協議会活動の周知並びに新規のボランティア活動者の育成、アロマハンドマッサージの技術の確認(フォローアップ)	実施回数：6回 参加者数：延43名
朗読ボランティア養成講座	朗読録音ボランティア活動者の養成	実施回数：4回 参加者数：延43名
点訳ボランティア養成講座	点訳ボランティア活動者の養成（点訳及びアイマスク歩行）	実施回数：9回 参加者数：延86名
こころの健康福祉ボランティア講座	精神保健福祉ボランティア活動者の養成ならびに精神保健福祉についての理解を深める	実施回数：3回 参加者数：延86名
夏の学生ボランティア体験	市内障害並びに児童施設・機関、ふれあいサロン等でのボランティア体験	実施ヶ所数：7ヶ所 開催日数：21日 参加者数：延39名
要約筆記奉仕員養成講座	要約筆記活動者育成（東広島市社会福祉協議会主催講座へ）	実施回数：18回 受講者数：1名

夏の一ひふくし体験	手話・点字・朗読録音それぞれのボランティア活動の周知及び活動体験	参加団体：4団体 開催日数：1日 参加者数：延9名
手話奉仕員養成講座（基礎編）	手話奉仕員活動者育成	実施回数：22回 受講者数：延224名

- ・技術ボランティア養成講座の開催

竹原市障害者地域生活支援・社会参加促進事業と併せて開催した。

③ボランティアグループ連絡協議会との連携・支援

- ・役員会、代表者会議への参画。

- ・ふれあい交流会の活動支援

○ふれあい交流会

期日 令和元年7月13日（土） 参加者 87名

○ふれあい交流運動会

期日 令和元年11月16日（土） 参加者 81名

- ・14グループへの活動費助成及びボランティア保険料助成

- ・市担当課、学校、他団体との連絡調整

各ボランティアグループの活動状況

グループ名	令和元年度の主な活動内容
点字サークルみちしるべ	広報・新聞情報等点訳、登録者に送付、学校の福祉体験教室に講師派遣
朗読録音ボランティアグループしおさい	広報・書籍・新聞情報等朗読録音、登録者に送付、講演会、式典等の司会、中国芸南学園での絵本の読み語り
手話サークルしらさぎ	学校の福祉体験教室（手話体験）に講師派遣、成人式での手話通訳、ふれあい運動会での手話通訳
手話サークルさくら	学校の福祉体験教室（手話体験）に講師派遣
竹原町第1地区ボランティアの会	クリーンローラー作戦、高齢者配食活動（年2回）
忠海第1地区ボランティアエデンの海	サロン運営、駅駐輪場、町内一斉、公民館、墓地清掃、芸南学園夏祭り
忠海第2地区ボランティアくろたき	高齢者配食活動（年2回）、中国芸南学園夏祭り、くろたきホーム盆踊り、駅駐輪場・公民館清掃
忠海第3地区ボランティアあじかた	サロン運営、中国芸南学園夏祭り、くろたきホーム盆踊り、駅駐輪場・長浜駅周辺・地域交流センター清掃、忠海学園老幼交流会参加
吉名ボランティアの会	高齢者配食活動（年6回）、宗越園通所入浴介助（年11回）、宗越園納涼交流会支援、世代間交流
大井ボランティアの会いこい	こども会イベント支援
東野町ボランティアひまわり会	寿和会会食支援、地域交流センター清掃、ゆうあい訪問、ゆさかまつりボランティア

荘野地区ボランティアの会せせらぎ	高齢者配食活動（年5回）、にこにこキッズ援助活動、ゆさかまつりボランティア、荘野小学校・賀茂川こども園との協調活動
田万里ボランティアの会さつき	サロン活動支援、高齢者配食活動（年1回）、長寿祝賀会の手伝い、踊り、ゆさかまつりのボランティア
小梨町ボランティアの会たけのこ会	県道沿い花壇の草取り、道路清掃活動、高齢者配食活動（年1回）

④災害時のボランティア活動の取り組み（基本目標2④）

- ・推進会議の開催

- e-まち講演会（再掲）を竹原市被災者生活サポートボラネット推進会議として位置付け実施した。

- ・平成30年7月豪雨災害に伴う竹原市災害ボランティアセンター閉鎖後の対応

- 通常のボランティアセンターで相談受付を行い、必要に応じてボランティア活動を実施した。

- 相談件数4件（土砂撤去等） 活動者延べ13名

- 災害ボランティア活動者事前登録制の実施 登録者73名

- ・災害ボランティア活動の普及啓発

- e-まち講演会（再掲）

- 社会福祉協議会ホームページ・フェイスブック、ふくしの駅内でパネル展示等

(4)福祉教育活動の推進（基本目標2⑤）

①社会福祉協力校の指定

市内小・中・高全15校を社会福祉協力校に指定し、地域福祉活動を「知る 触れる 感じとる」機会を提供するため、学校の希望に応じた福祉学習のメニューを開発し実施した。

②ボランティア体験学習の充実

- ・福祉体験等の授業を組み立てる際の企画協力等（15件）

- ・体験学習へのボランティア派遣（15件）

- ・社会福祉協力校事業調整訪問（随時）

- ・市内高等学校2校で夏の学生ボランティア体験事前説明会を開催

- ふれあいサロン、障害福祉施設・機関等の体験 延べ39名

- ・ドラえもん募金モデル校指定（共同募金学校募金）

- 児童・生徒に募金についての説明や贈呈式出席

(5)生活支援事業

①住民参加型日常生活応援活動「元気たけはら」事業（基本目標3④）

高齢者・障害者・児童・子育て世代等、日常生活の支援を必要とされるかたを対象に実施している。

- ・活動内容：日常生活支援、子育て支援、福祉有償運送

- ・利用会員登録料 年会費 1,500円

- ・利用会費 1時間 700円 1km 140円

- ・利用会員 33名

- ・協力会員 78名

- ・年間利用件数 延べ 423件

- ・年間利用時間(日常生活支援) 383時間

・年間利用距離 延べ 182km

②ふれあい福祉相談センター事業（基本目標3①）

地域生活の支援として、専門相談及び一般相談において各種相談を受け付けた。

相談のみで解決が困難な相談内容については、関係機関・専門職と連携して問題解決を図るとともに、本会の各種地域福祉事業で対応した。近年の社会背景を受け、家族間の問題や財産、権利など多岐にわたる相談が本会に寄せられている。

【専門相談状況】

- ・年間開催日数 70日 ・年間利用者数 103名
- ・年間相談件数 103件（内訳）

税 金	法 律	不 動 産	保 険 年 金	女 性	障 害 児 ・ 者
20	50	13	15	2	3

【一般相談状況】

- ・年間開催日数 240日 ・年間利用者数 116名
- ・年間延べ相談件数 141件（内訳）

生 計	6	児 童 福 祉	1	介 護 保 険	3
年 金	3	健 康 ・ 衛 生	0	教 育 ・ 青 少 年	0
職 業 ・ 生 業	2	医 療	5	障 害 者 福 祉	6
住 宅	12	精 神 保 健	7	母 子 ・ 父 子 福 祉	0
家 族	16	人 権 ・ 法 律	4	高 齢 者 福 祉	11
結 婚	1	財 産	25	苦 情	4
離 婚	1	事 故	0	そ の 他	34

③障害児・者紙おむつ支給事業（基本目標3③）

在宅で生活している障害がある人（64歳まで）に紙おむつを支給する事業を実施した。
利用件数：13件

④権利擁護センター事業（基本目標3②）

[1]日常生活自立支援事業「かけはし」

かけはし利用者の高齢化、判断能力の低下に伴い、成年後見制度への移行や、施設入所するケースがみられる。他制度への移行の適切な時期や方法について関係機関と連携し、円滑に対応している。相談・契約件数では認知症高齢者、知的障害者、精神障害者いずれも増加している。関係機関と連携を密にして、必要な支援ができるよう努めている。また、生活困窮者自立支援事業とも連携し、利用者が必要とする支援に対応できる体制を整えている。

- ・生活支援員数 21名
- ・実利用者数 49件 内新規契約件数 13件

対 象 者	実利用者数	左記のうち 被生活保護者数	契約終了件数
認知症高齢者等	20	3	6
知的障害者等	12	3	0
精神障害者等	10	3	4
その他	7	2	1
合 計 (件)	49	11	11

・相談件数等 2,438 件（内訳）

	本事業の利用に関するもの				その他の相談・援助	合計
	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他		
問い合わせ	13	1	4	2	0	20
相談	13	1	4	2	0	20
契約後の支援	1,099	563	454	282	0	2,398
合計（件）	1,125	565	462	286	0	2,438

※入院等による市外利用者支援・・・3回

・その他の活動状況（関係機関連絡会議・利用調整会議・広報、啓発活動等）

利用調整会議：44回 広報啓発活動：随時

福祉だより掲載、出前講座やボランティア講座にて事業内容の説明等を行った。

・生活支援員の養成等

県社協主催の生活支援員等スキルアップ研修にて実践に活かす対人援助技術の習得を目的に受講した。（令和元年度 2名）

・研修会等への参加

多様化するニーズへの対応や、適切な事業運営のため、広島県社会福祉協議会による専門員会議への参加を行った。

・成年後見制度の利用促進等について

	対象者の種別				合計
	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	
申立件数	2		0	0	2
申立方法					
本人申立	0	0	0	0	0
家族申立	1	0	0	0	1
市長申立	1	0	0	0	1
後見人等へ引継終了	2	0	0	0	2
引継ぎ前に死亡・転居等による終了	0	0	0	0	0
成年後見類型等					
成年後見人	1	0	0	0	1
保佐人	0	0	0	0	0
補助人	1	0	0	0	1

[2]竹原市障害者虐待防止センター

・障害者虐待防止及び権利擁護支援事業の実施

障害者の権利擁護の推進のために各種関係機関・専門職との連携・協力体制の構築の為、障害者虐待防止ネットワーク運営委員会を開催した。障害者の権利擁護に係る対応の強化のため竹原市消費生活相談室担当者にオブザーバーとして参加をしてもらい連携強化を行った。

期日：令和元年8月7日（水） 場所：竹原市ふくしの駅 3階 研修室1・2

・相談件数

	本事業に関するもの				合 計
	身体 障害者	知的 障害者	精神 障害者	その他	
通報・相談	1	0	1	1	3
内、県へ報告	0	0	0	0	0
その他 問い合わせ等	0	0	0	0	0
虐待該当案件	1	0	0	0	1
非該当案件	0	0	1	1	0

- ・初期通報後の関わりについて ※（ ）は障害 重複者
（対応経過中のケースも含む）

	本事業に関するもの				合 計
	身体 障害者	知的 障害者	精神 障害者	その他	
ケース会議への参加	2	0	0	1	3
ケース対応終了報告の受理	1	0	0	0	1
対応経過報告	2	0	0	0	2
市の要請による市長申し立て書類の作成	0	0	0	0	0
その他 相談	0	1	0	0	1

・研修等への参加及び目的と効果

令和元年 6月13日 法人後見事業担当者連絡会議

令和元年 8月22日 高齢者・障害者虐待対応関係者情報交換会

令和元年 11月21日 広島県障害者虐待防止・権利擁護研修会

関係する事業等への理解及び虐待対応時における関係機関との円滑な連携の
為、研修会等にて他市町の状況確認及び関係機関（専門職）と情報交換及び連携
強化を図った。

・広報・啓発活動

本会ホームページ上での事業及び虐待種別等の周知

社会福祉協議会広報誌（福祉だより）による窓口の周知と弁護士による権利擁護に
関する記事の掲載（年1回）

社会福祉協議会による出前講座における周知活動の実施

民生委員・児童委員協議会における事業紹介と周知・連携依頼

・成年後見制度の普及・啓発活動について

福祉だより 11月号に、弁護士監修による成年後見制度に関する記事を掲載した。

成年後見制度も含め、権利擁護を踏まえた講演会、相談会を広島弁護士会呉地区
会の協力の元、次のとおり開催した。

令和元年 11月30日（土） 場所：竹原市ふくしの駅3階 会議室

令和元年 12月10日（火） 場所：竹原市ふくしの駅3階 会議室

講演会 講師：加藤之拓（弁護士法人 あすか）
 相談会相談員：加藤之拓（弁護士法人 あすか）
 講演会 参加者数：21名（両日）

[3]生活困窮者自立相談支援事業

・支援内容について

本人同意後、支援プランを作成し、かけはし、竹原市地域包括支援センター、竹原市各課・障害者支援センター・民生委員等様々な分野の関係者と連携して支援を行った。その中で虐待の疑いの案件には、高齢者等権利擁護ネットワーク・障害者虐待防止及び権利擁護ネットワークと連携を密に行い、本人の権利擁護に努めた。

また、引きこもりの方の社会参加を促すため、ボランティアセンターで実施したボランティア講座等への参加の呼びかけを行った。今年度はコーヒー講座に2名の参加があり、講座終了後も継続して支援した。

・プラン作成件数 34件

・新規相談件数 70件

相談経路

相談経路（社協窓口対応）	件数
本人（来所）	11件
本人（電話・メール）	3件
家族・知人（来所）	13件
家族・知人（電話・メール）	2件
関係機関・関係者紹介	41件
その他	5件
合計	75件

※ 同一案件につき、複数の相談経路を含む

年齢別

※本人特定のみ、本人同意なしを含む

新規相談受付件数（年齢別）	件数
65歳以上	15件
60代～64歳	12件
50代	11件
40代	14件
30代	4件
20代	2件
～10代	3件
不明	9件
合計	70件

・関係機関との連携

平成28年6月から、社会福祉法人宗越福祉会が認定就労訓練事業を受任し、就職定着困難な方を対象とした幅広い就労スタイルに対応した就労体制「TRY」を実施。現在2名が利用中。1か月に1～2回定期的に訪問し宗越園就労担当者、就労支援員と連携し、利用者のフォローアップを行った結果、就労意欲の向上、収入増、引きこもり防止につながった。

・ 広報・啓発活動・研修について

本会ホームページ及び福祉だより、竹原市広報にて事業の紹介パンフレットの各戸回覧（令和2年1月）を行った。

民生委員・児童委員協議会及び竹原地域ネットワーク会議・自立支援定例会議・出前講座等で制度の広報・啓発・協力依頼を行った。

高齢者等権利擁護ネットワーク・障害者虐待防止及び権利擁護ネットワークへ参画し、事業の普及啓発及び連携協力の依頼を行った。

また、各種専門員研修へ参加した。（母子支援制度・司法・福祉資金貸付制度関係）

[4]生活困窮者家計相談支援事業

・ 支援内容について

生活困窮の早期解決を図るため、定期的に面談を行い、家計簿の作成や家計における収支のバランスを一緒に考えるなどの支援を行った。また、必要に応じ日常生活自立支援事業「かけはし」と連携し、税金や医療費の滞納整理に係る支援を行った。緊急時には福祉資金貸付制度等につなぎ、計画的に返済できるよう支援を行った。

・ 家計支援事業プラン作成件数：20 件

・ 支援実績（自立支援・家計支援合計）

結 果 （内訳）	件数
電話相談・連絡	199 件
訪問・同行支援	134 件
面談	131 件
所内会議	9 件
支援調整会議	16 件
その他他機関との連携	68 件
他機関との連絡・協議、その他	93 件
合 計	650 件

・ 広報、啓発活動について

本会ホームページ、福祉だより、竹原市広報紙による掲載を行っている。

民生委員・児童委員協議会及び小地域ネットワーク会議、竹原地域ネットワーク会議・自立支援定例会議に参加し、制度の広報・啓発・協力依頼を行った。

e-まち講演会にてパンフレットを配布し、普及啓発を行った。

⑤ファミリー・サポート・センター事業（基本目標3④）

・ 利用会員数176名 協力会員数171名 両方会員40名 計387名

・ 子どもの習い事などの援助	349件	} 計1,256件
・ 放課後児童クラブ終了後の預かり	262件	
・ その他の預かり	645件	
・ 研修会の実施	3回	

(6)社会福祉の広報・啓発活動

①竹原福祉だよりの発行（基本目標3⑤）

・ 年度7回発行（5・7・9・10・11・1・3月）※10月号は共同募金特集号

・ 地区社会福祉協議会コーナーを設け、各地区社会福祉協議会ごとに取り組みについてPRを行った。

- ②ホームページ・ブログの運営（基本目標3⑤）
- ・ホームページリニューアルを行い、わかりやすいレイアウト表記に変更した。
 - ・Facebook、ホームページにて本会事業の活動を随時掲載した。
- ③ケーブルテレビ（タネット）の活用（基本目標3⑤）
- ・竹原商工会開催「七夕まつり」にて災害登録ボランティアの募集を行った。
（タネットチャンネルで放映）
- ④福祉意識啓発のための地域福祉講演会やイベントの開催（基本目標4②）
- ・ふくし健康まつりの開催
期 日 令和元年9月29日（日）9：00～15：00
会 場 ふくしの駅・保健センター
来場者数 1,100名 ・福祉関係団体参加 計48団体
 - ・e-まち講演会の開催（再掲）
- ⑤出前講座の充実（基本目標3⑤）
- ・市内のふれあいサロンや各種団体に訪問し広報・啓発を行った。（106件）
- ⑥その他
- ・竹原市広報等において、社会福祉協議会の事業案内を行った。
 - ・ふくしの駅1階ロビー掲示板にて1年を通して社協事業の広報を行った。
- (7)地域人材確保推進体制整備事業の実施（基本目標4②）
- ①竹原市福祉・介護人材確保等総合支援協議会の開催
- ・協議会等の開催（竹原地域社会福祉法人協議会活動の会議を活用して実施）
協議会：年4回 ワーキング会議：年5回
- ②福祉・介護の人材確保・定着等に関する事業の実施
- ・学齢期から高校、地域住民を対象にした福祉の啓発活動
 - ・あいさつ運動の実施
市内の小中学校であいさつ運動を6月から2月の第1水曜日に実施した。
 - ・竹原高校への取り組み
文化祭への福祉法人啓発ブースの出展 6/15
総合的学習時間「KOGENⅢ」医療・福祉講演会への講師派遣 6/26
 - ・福祉・介護の職場説明会
福祉カフェ（福祉の職場説明会）の開催
日 時：令和元(2019)年9月29日(日)9：00～15：00
会 場：ハートフル竹原中央南側
内 容：カフェ方式による福祉・介護の職場説明及び資料提供、求人説明 等
来場者 113名、求人面談6名、アンケート回収95件
 - ・事業所向け研修会の開催
職員研修の開催：2/26 参加者57名
中堅職員（ネクスト職員）研修の開催：1/11 参加者17名
- (8)関係機関との協働
- 住民福祉の協力機関である竹原市民生児童委員協議会が開催する理事会、ならびに各地区民児協会議に出席し、市民児協（4地区民児協）と本会が協働して地域住民の相談やニーズに対応する体制・活動展開を図った。

4. 介護保険法・障害者総合支援法関係事業

(1) 介護保険法関係 (基本目標4①)

① ほんのぼの訪問介護事業所の運営

- ・延べ利用者数 3,684名 (内訳 介護 2,006名、予防 1,678名)
- ・ヘルパー研修会の実施 (毎月第4火曜日)
介護サービスの向上とヘルパーの介護技術の向上を目指し、自主研修を実施した。
- ・介護実務研修への参加 (8回、延12人参加)
外部団体等が主催する介護実務研修に参加し、介護サービスの向上を図った。
- ・ほんのぼの通信の発行 (年3回発行 4月、8月、11月)
利用者及び関係機関に介護や事業所の情報提供を行った。
- ・多様なニーズに対応するための援助体制の整備
利用者のニーズに応じて 営業時間外の援助にも対応できる体制をとった。

(2) 障害者総合支援法関係 (基本目標3③)

① 在宅障害者デイサービスセンター事業の受託運営

事業区分	実施回数	実施人数		延利用者数		利用者の障害種別・程度			
		登録者	介護者	登録者	介護者	身体障害者手帳		療育手帳	
作業訓練	234	11	4	1,589	994	1級	3名	④	3名
機能訓練	25	11	4	156	106	2級	1名	A	5名
社会適応訓練	32	11	4	175	119	3級	1名	⑤	2名
更生相談	6	11	1	16	7	4級	0名	B	0名
日常生活家事訓練	237	11	4	1,610	954	5級	0名		
創作活動	51	11	4	341	214	その他	0名		
スポーツ・レク教養	76	11	4	320	184	年間受け入れボランティア184名			

② 竹原市障害者意思疎通支援事業、障害者地域生活支援・社会参加促進事業の受託実施

- ・手話奉仕員派遣事業：27回
- ・要約筆記奉仕員派遣事業：1回
- ・勉強会の開催 (手話奉仕員連絡会)：月1回
- ・手話奉仕員学習会：新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止
- ・福祉機器リサイクル事業
 - 電動ベッド 延べ貸出件数 12件
 - 車いす 延べ貸出件数 79件
 - 杖等福祉用具 延べ貸出件数 21件 合計112件
- ・ボランティア活動支援事業 (精神保健福祉)：「こころの健康」福祉ボランティア講座 (活動者研修) の実施 3回講座計5日開催 参加者延べ86名

③ ほんのぼの訪問介護事業所 (居宅介護事業、重度訪問介護、移動支援事業の運営)

- ・延べ利用者数 1,168名

5. 委託事業の運営

市民にとって効率的な事業運営となるように常に全職員が心がけながら、次の福祉事業について竹原市及び広島県社会福祉協議会より受託し、責任をもって運営した。

(1) 地域包括支援センター事業の受託運営

地域包括支援センターは包括的支援事業と指定介護予防支援業務を実施した。

① 高齢者総合相談支援事業（基本目標3①）

・延べ相談者数 3, 449名

相談利用者内訳

全体相談者数（ブランチ含む）		内 訳	
		包括支援センター	ブランチ4か所
相談者別	相談者数	相談者数	相談者数
家族	484	125	359
本人	1,641	93	1,548
居宅	112	33	79
医療機関	202	55	147
サービス事業所	208	7	201
行政	245	29	216
民生委員	126	28	98
ブランチ（包括）	152	11	141
その他	279	51	228
合計	3,449	432	3,017

相談内容内訳 延べ件数 3, 776件

	相談内容	相談件数	(内) 居宅
総合相談	介護保険サービス	1,008	10
	福祉サービス	102	1
	インフォーマルサービス	51	0
	小地域ネットワーク会議	0	0
	その他	75	3
権利擁護	認知症	206	2
	成年後見制度等	19	0
	高齢者虐待	12	0
	消費者被害	0	0
	日常生活支援事業（かけはし）へのつなぎ	9	0
	その他	20	2
介護予防	介護予防	1,344	0
	介護予防・日常生活支援総合事業	0	0
包括的継続的	個別ケース	48	18
	制度	1	0
	その他	0	0
苦情		1	0
上記以外の相談		880	0
合計		3,776	36

- ・実態把握件数 1, 257件

②権利擁護事業（高齢者対象）（基本目標3②）

- ・相談対応件数は総合相談内訳表で提示
- ・成年後見制度市長申し立て支援件数 3件
- ・権利擁護講演会・相談会（再掲）

令和元年11月30日（土）・12月10日（火）

場所：竹原市ふくしの駅3階 会議室

講演会講師：加藤之拓（弁護士法人あすか）

相談会相談員：加藤之拓（弁護士法人あすか）

- ・高齢者権利擁護ネットワーク事業

権利擁護ネットワーク運営委員会の開催（令和元年8月7日）1回

- ・認知症サポーター養成講座の開催（キッズサポーター養成講座含む）計411名

日程	対象	参加人数
7/9	竹原市立竹原中学校	91人
9/26	竹原市立賀茂川中学校	27人
8/6	竹原市民生委員・児童委員（竹原・大乘地区）	39人
9/10	竹原市立東野小学校	18人
9/25	竹原市立荘野小学校	51人
10/28	竹原市立竹原西小学校	44人
11/11	竹原東部民生委員会	17人
12/3	竹原市立忠海中学校	25人
12/16	竹原市立吉名中学校	21人
1/15	竹原市立忠海小学校	22人
2/14	よってみんさいカフェ参加者	12人
2/25	竹原市立竹原小学校	44人

- ・認知症講演会（令和2年3月14日開催予定だったが、新型コロナウイルス感染予防のため開催中止とした）

③包括的・継続的ケアマネジメント事業（基本目標4①）

- ・相談件数は総合相談内訳表に提示
- ・竹原地域ネットワーク会議 11回
- ・小地域ネットワーク会議 計26回

各在宅介護支援センター（地域包括支援センターブランチ）にて、民生委員4～5人・市健康福祉課（介護福祉係・障害福祉係）・ブランチ職員・障害支援センター職員・地域包括支援センター職員等で会議を行い、地域との連携を図った。

在宅介護支援センター（せとうち、むなこし、ゆさか、せいけい）

- ・個別ケース会議 7ケース 9回

行政、民生委員、ブランチ、障害支援センター、社協等関係者との連携会議を行った。

- ・通所サービス事業所連絡会出席 3回
- ・ヘルパー事業所市内カンファレンス出席 3回

④介護予防ケアマネジメント（基本目標4①）

- ・第1号介護予防支援業務 1,465件（内委託 763件）
- ・介護予防支援業務 3,537件（内委託 2,362件）
- ・介護予防事業
いきいきはつらつ教室事業実施支援（2クール28回の開催・市内4か所）
- ・自主グループ活動
自主グループ立ち上げ及び運営の支援を行った。
継続32ヶ所 新規5ヶ所 計37ヶ所
フォローアップ 56回参加者 延べ899人

⑤その他事業

- ・会議、連絡調整
ブランチ打ち合わせ会（担当者レベルでの事業打ち合わせ） 11回
障害者自立支援定例会議（障害者自立支援協議会含） 11回
地域密着型サービス運営推進会議（5か所）出席 18回
竹原地域医療介護推進協議会出席 4回
在宅医療推進部会出席 5回
認知症見守り部会出席 5回
【普及啓発】認知症啓発映画上映会協力（令和元年9月8日）
【ネットワークづくり】認知症声かけ訓練の実施
令和元年6月15日（土）忠海東地域で開催 参加者38名
令和元年6月18日（火）忠海駅周辺で開催 参加者30名
令和元年10月2日（水）東野地域交流センター周辺で開催 参加者42名
認知症サポーター養成講座受講修了の東野小学校3・4年生の児童と行う。
令和元年10月7日（月）新庄集会所周辺で開催 参加者14名
- ・出前講座等
介護予防、認知症、高齢者制度、介護技術、権利擁護等について
28回 参加者 延べ660人

⑥広報等

- ・「福祉だより」に地域包括支援センターの専用ページ：一般住民等対象
 - ・本会ホームページで事業紹介：一般住民等対象
 - ・タネット文字放送で行事紹介 随時
- (2)竹原市ファミリー・サポート・センター事業の受託運営(再掲)
- (3)竹原市在宅障害者デイサービスセンター事業の受託運営(再掲)
- (4)竹原市意思疎通支援事業、障害者地域生活支援・社会参加促進事業（再掲）
- (5)福祉バス介助員派遣事業
福祉バス介助員派遣事業190回(市受託事業、元気たけはら事業から協力会員が添乗)
- (6)障害者虐待防止センター事業(再掲)
- (7)生活困窮者自立支援相談事業(再掲)
- (8)生活困窮者家計支援事業(再掲)
- (9)ふくしの駅運営管理
- (10)生活支援体制整備事業
地区社会福祉協議会事業等を活用した、生活支援コーディネート業務の実施

(11) 地域支え合いセンター事業

平成30年7月豪雨で被災された方の安心した日常生活を支えるため、支援員・相談員が被災者宅等へ個別訪問し、見守り・生活支援・地域交流の促進等の総合的な支援を行うとともに、各種相談に対応した。

- ・開設日：平成30年10月22日
- ・訪問対象世帯数：271世帯
- ・活動内容：被災対象世帯の相談・訪問対応（ニーズの把握、専門機関等へのつなぎ、情報提供等）、被災対象世帯の地域コミュニティへの参加支援
- ・相談経路・内容 計792回
訪問(313回) 電話(295回) 来所(56回) その他(128回)
- ・対応内容 計860件
具体的支援(32件) 傾聴(515件) 情報提供(249件) その他(64件)
- ・相談内容 計1,347件
健康医療(368件) 家族(146件) 居住:仮設(1件) 居住:再建(104件) 就労(7件)
介護・福祉(31件) 法律・制度(22件) 地域活動(28件) 日常生活(451件)
社会的関わり(27件) 経済面(12件) 精神面(118件) その他(32件)

5. 各種事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金

①目的 低所得者(生活保護)世帯や高齢者・身体障害者世帯に対し、低利で貸し付けるとともに必要な援助指導を行い、その世帯の経済的自立と生活意欲の助長促進を図り、安定した生活を営めることを目的とする。

②令和元年 貸付状況

(単位：円)

区 分	申 込		貸 付 決 定	
	件 数	金 額	件 数	金 額
福祉資金	1	143,000	1	143,000
本年度計	1	143,000	1	143,000
前年度までの計	262	166,771,430	252	155,115,430
合 計	263	166,914,430	253	155,258,430

償還実績 前年度までの合計 149,352,940円
 本年度 333,220円
 計 149,686,160円
 償 還 率 96.41%
 相 談 件 数 28件

緊急援護・生活安定資金

①目的 低所得者世帯に緊急に必要とする資金を貸し付け、生活の安定に資することを目的とする。

②令和元年度 貸付状況

市分 原資 2,200,000円 (単位：円)

区 分	申 込		貸 付 決 定	
	件 数	金 額	件 数	金 額
本 年 度 計	10	280,000	10	280,000
前年度までの計	631	25,690,146	604	25,690,146
合 計	641	25,970,146	614	25,970,146

償還実績 前年度までの合計 23,743,566円
 本年度 191,500円
 計 23,935,066円
 償 還 率 92.16%

県分 原資 1,500,000円 (単位：円)

区 分	申 込		貸 付 決 定	
	件 数	金 額	件 数	金 額
本 年 度 計	0	0	0	0
前年度までの計	205	9,875,000	202	9,775,000
合 計	205	9,875,000	202	9,775,000

償還実績 前年度までの合計 9,068,000円
 本年度 0円
 計 9,068,000円
 償還率 92.76%

高齢者住宅整備資金

この資金は、平成5年度で県の貸付制度が廃止。償還業務のみが残っている。

(単位：円)

区 分	申 込		貸 付 決 定	
	件 数	金 額	件 数	金 額
合 計	41	78,711,000	38	73,640,000

償還実績 前年度までの合計 69,953,790円
 本年度 0円
 計 69,953,790円
 償 還 率 94.99%

(2)共同募金事業

竹原市共同募金委員会事務局を運営し、次表の募金実績となった。

①募金実績

令和元年度 共同募金実績表 (単位：円)

区 分	本年度募金額	前年度募金額	前年度比
戸別募金	4,058,500	4,115,550	△57,050
街頭募金	140,381	128,244	12,137
法人募金	776,999	780,000	△3,001
職域募金	435,079	423,967	11,112
学校募金	113,348	138,808	△25,460
その他の募金	141,200	33,400	107,800
合 計	5,665,507	5,619,969	45,538

②配分実績 (平成30年度募金を令和元年度で配分、本会事業費に充当)

平成30年度募金実績額 5,619,969円

県共同募金会直接配分金 △2,112,000円※

差引後 竹原市地域配分金 3,507,969円

平成29年11月末現在の住民基本台帳世帯数12,546に0.9を乗じ(共同募金基礎世帯数)それに、60円を乗じたものと平成29年度共同募金実績額に0.25を乗じた額を合わせたもの。

(単位：円)

内 訳	配分金額	説 明
地区社会福祉協議会	944,770	市内19地区社協
ボランティアグループ	558,000	14ボランティアグループ
社会福祉協力校	630,000	市内14校
団体助成	1,080,000	市老連、市民児協他3団体
地域福祉事業	295,199	ふくし健康まつり・ふれあい運動会等
計	3,507,969	

(3)基金運営事業

本会が管理する基金及び積立金の運営について、基金管理運営委員会を開催し、基金の運営状況の報告や助成事業の審査等を行い、適正な運営と有効な活用に努めた。

①基金運営委員会の開催

	期 日	議 題 等
第1回	2月18日	平成30年度助成事業の報告について 令和2年度助成団体の選定について 他

②基金及び積立金運営状況

・ 基金及び積立金の積立状況

(単位：円)

基金の種類	基金積立額			
	前年度繰越額	当年度積立額	取崩額	次年度繰越額
福祉基金	8,107,988	1,063	0	8,109,051
津田木材福祉基金	10,000,000	0	0	10,000,000
地域福祉振興基金	45,027,786	4,029	3,997,200	41,034,615
ボランティア基金	56,224,321	0	0	56,224,321
自動車積立金	632,547	62	0	632,609
事業積立金	42,361,220	0	1,579,425	40,781,795

・ 基金及び積立金事業

(単位：円)

基金の種類	基金事業			
	前年度残額	当年度受入額	当年度支出額	次年度繰越額
福祉基金	0	0	0	0
津田木材福祉基金	346,868	576,002	674,127	275,743
(備考)		会費、寄附金、 利息	車両費、燃料費 等事業費	
地域福祉振興基金	0	3,997,200	3,997,200	0
(備考)		基金取崩	助成金	
ボランティア基金	1,774,805	25,299	95,468	1,704,636
(備考)		寄付金、利息	Vセンター事業	
自動車積立金	0	0	0	0
事業積立金	0	1,579,425	1,579,425	0
(備考)		積立金取崩	地域福祉・ボラン ティア活動推進等	

③ 基金及び積立金助成等事業の状況

(単位：円)

基金	事業名	団体名	支出額(円)	事業内容
津田木材福祉基金	福祉車両貸出事業	本会事業	674,127	福祉団体等にマイクロバスを貸し出す事業
地域福祉振興基金	地域まるごと世代間交流総合推進事業	荘野地区社会福祉協議会	300,000	文化継承事業や創作活動の継承、高齢者との交流などの活動により異世代交流を図り、学校と地域が一体となって取り組むことにより、地域全体の強いつながりを作る事業
	みんなでご飯「かぐや子ども食堂」	竹原市母子寡婦福祉連合会	43,200	独りで食事をする子や事情により食べれない子どもなどに栄養のある温かい食事を提供を行うとともに地域の子どもの居場所づくりや異年齢・異世代の交流の場とする事業

	市民啓発講座 ～暮らしと看取り のサポーター～	広島・ホスピスケアを すすめる会 竹原支部	300,000	よりよい終末を最期まで 生きぬくため、地域でど う支え合い助け合ってい くか、講座を通じて考え 学ぶ機会とするとともに、 遺品整理の現場から 自らの終活を考える事業
	ふれあいサロン 助成事業	各ふれあいサロン (62ヶ所)	3,354,000	地域で活動するふれあい サロンへの活動費助成
	計		3,997,200	
事業積立金	地域福祉・ボランティア 推進事業関係	本会事業	980,000	地区社協、広報啓発、ボラ ンティアセンター等事業への活用
	地域福祉活動拠点 整備	各ふれあいサロン (2ヶ所)	130,000	常設型サロン実施のため の活動拠点整備費の助成
	計		1,110,000	

(4)竹原地域社会福祉法人協議会事業

福祉・介護人材養成事業を中心に事務局を運営した。

(5)竹原市ふれあい運動会の実施（実行委員会事務局）

期 日 令和元年6月9日(日)

場 所 バンブー・ジョイ・ハイランド竹原市体育館 参加数 224名